令和８年度

編入学試験

入学試験要項

亜　細　亜　大　学

【個人情報の取り扱いについて】

本学は、提出していただいた書類の情報につきまして、重要な個人情報として十分留意し取り扱います。

なお、業務の必要上、入学試験の受付および実施に関わる業務の一部を第三者に委託する場合があります。この場合、機密保持契約の締結等により、個人情報が不適切に取り扱われないように、委託先を管理します。

また、出願書類に記載していただいた連絡先や、証明書等の発行元に、内容確認等のため連絡する場合がありますので、ご了承ください。

※各入学試験の実施内容を変更する場合があります。
変更する場合は決定次第、本学ホームページ等で周知しますのでご注意ください。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学	亜細亜大学（以下「本学」という。） は、教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」、及び、それを具体化した「教育の基本方針」（＊） に基づき、建学の精神「自助協力」を体得し、各学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、各自の「個性値」を伸ばし、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。 1.幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。 2.グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。 3.他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。 4.目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を持続できる。 ＊「教育の基本方針」とは「国際社会で貢献できる有為な人材の育成」「人間性重視の教育」「新しい社会を創り出す創造力あふれる人材の育成」の三つです。
経営学部 経営学科	経営学部経営学科（以下「本学科」という。） の教育課程において所定の単位を修得し、広い意味での「実学」、すなわち、経営学の専門知識とその実践的活用を通してマネジメントを行う能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与します。 1.企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる。 2.グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる。 3.情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる。 4.経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を持続できる。
経済学部 経済学科	経済学部（以下「本学部」という。） の教育課程において、所定の単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に学位を授与します。 1.経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。 2.多様な視点から経済社会を総合的に理解するために必要な幅広い知識と教養を身につけている。 3.将来のキャリア形成に向け、経済学の実践的な知識・思考やデータ分析能力を身につけている。 4.アジアを始めとするグローバル社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。 5.他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている。
法学部 法律学科	法学部（以下「本学部」という。） は、本学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。 1.法学及び政治学の主要分野について、基本的な専門知識を修得している。 2.多様な構成員からなる複雑な現代社会において、さまざまな利害をめぐり生ずる諸問題に積極的に取組み、真に解決すべき課題を的確に把握する能力を有する。 3.多数者と少数者などの相対立する主張を客観的に捉え、公平な立場から、ルールに則り妥当な解決を導く判断力を有する。
国際関係学部 国際関係学科	国際関係学部国際関係学科（以下「本学科」という。） は、建学の精神「自助協力」に基づき、国際社会の平和と発展に貢献する人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。 1.政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。 2.この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力） が養われている。 3.一定水準の英語運用能力を備えている。 4.国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。
国際関係学部 多文化コミュニケーション学科	国際関係学部多文化コミュニケーション学科（以下「本学科」という。） は、建学の精神「自助協力」に基づき、アジアをはじめとする世界諸地域における多文化間の交流と対話を促進できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。 1.国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を修得している。 2.一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力を身につけている。 3.多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力） が養われている。 4.文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大学	本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、以下のような人が国内外から本学に入学してくることを期待しています。特に、本学の教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」に共感し、建学の精神「自助協力」を体得しようとする志（こころざし） を持つ人を歓迎します。 そのために各学部学科において多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。 1.希望する学部学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 2.身の回りの社会的現象から、自ら問題を発見し、自ら考え、自ら判断し、説明することができる。 3.本学で学ぶ 4 年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。 4.多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5.大学で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。
経営学部 経営学科	本学科は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ビジネス社会への関心が高く、グローバルな環境で活躍することや将来広くビジネス社会で働くことを希望している、次のような人を求めます。 そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。 1.本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 2.高等学校における学習を通じて、論理的思考力、コミュニケーション能力を身につけている。 3.高等学校において資格・技能を獲得するなどさまざまな活動に参加しており、本学科で学ぶ 4 年間においても自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持って多様な活動に積極的に参加できる。 4.多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5.本学科で学ぶ知識・技能･態度･体験を社会と自己のキャリア形成に活かしたいという意欲がある。
経済学部 経済学科	本学部は、経済及び社会の諸問題、その原因や対策、歴史などに対する強い関心を持ち、経済学と幅広い知識を獲得しようとする高い勉学意欲を持ち、将来の日本と世界の経済社会を担う意欲を持つ人を広く求めます。 1.知識・理解　経済や社会の諸現象を分析し、理解するための基礎学力と一般教養を十分に修得している。 2.思考力･判断力　経済や社会に関する事柄について報告や討論するための基本的な理解力･伝達力を身につけている。 3.関心・意欲　経済学を中心とした幅広い知識の獲得を通して、自らを成長させたいという目的意識を持つ。 4.関心・意欲 スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得、留学など大学内外の活動を通じて、多様な視点から経済社会について学び考える姿勢がある。 5.関心・意欲　経済や社会の諸現象の問題解決に自ら取り組んでみようという意欲がある。
法学部 法律学科	本学部は、ディプロマ・ポリシーで挙げた知識・能力・態度を持つ人材を育成するために、次のような資質を持った人が、広く全国から、またアジアを中心に世界各国から入学してくることを期待しています。特に、本学部の伝統を理解し、これを未来に伝えるとともに、未知への挑戦を恐れず、新たな伝統を形成する積極性を持つ人を歓迎します。 そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的評価を行います。 1.法学部の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程における国語や外国語（英語）、地理歴史、公民などの基礎的な学力を修得している。 2.わが国の法や政治に関心を有し、本学部で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。 3.学業のみならず、幅広い経験を通じて、社会の出来事から問題を発見し、自ら思考、判断し、行動へと結びつけることができる。 4.社会・公共への広い関心を有し、自分と異なる意見にも耳を傾け、対話することのできる柔軟な精神を持っている。 5.本学部で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。
国際関係学部 国際関係学科	本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために､以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。 1.国際社会の動向に強い関心を持っている。 2.社会科学を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴･公民に属する科目をしっかり学習している。 3.報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 4.英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 5.外国語、特に英語の学習に高い意欲を持ち､将来国際的な職種での活躍を希望している。 6.本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 7.多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
国際関係学部 多文化コミュニケーション学科	本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために､以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。 1.アジアをはじめ世界各国の社会・文化・言語に、そして多文化間交流に強い関心を持っている。 2.多文化間交流を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴･公民に属する科目をしっかり学習している。 3.報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 4.英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 5.英語及びアジア諸言語の学習に高い意欲を持ち､将来国際的な職種での活躍を希望している。 6.本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 7.多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。

令和８年度　編入学試験要項

■募　集　人　員

［第２年次］　経営学部　経営学科　若干名　法学部　法律学科　若干名

［第３年次］　経営学部　経営学科　若干名　国際関係学部　国際関係学科　若干名
経済学部　経済学科　若干名　国際関係学部　多文化コミュニケーション学科　若干名
法 学 部　法律学科　若干名

■出　願　資　格

次のいずれかの条件を満たす者

［第２年次］　日本の大学に１年以上在学し、当該大学が卒業の要件に定める単位のうち３１単位以上を修得した者および令和８年３月修得見込みの者

［第３年次］　①日本の大学に２年以上在学し、当該大学が卒業の要件に定める単位のうち６２単位以上を修得した者および令和８年３月修得見込みの者

②日本の短期大学または日本の高等専門学校を卒業した者および令和８年３月までに卒業見込みの者

③日本の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上、総授業時数が１，７００時間以上又は６２単位以上であるものに限る）を修了した者および令和８年３月までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る）

④日本の高等学校等の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者および令和８年３月までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る）

■選　抜　方　法

以下、（１）～（３）の総合評価により、合否を判定する。

［経営学部 経営学科２・３年次、経済学部３年次、国際関係学部３年次］

（１）英語（※）　　（２）小論文　　（３）面接

［法学部２・３年次］

（１）英語（※）　　（２）専門基礎　　（３）面接

※英語は本学の指定する①～⑧の外部試験（４技能）の成績を利用する

①ケンブリッジ英語検定　④ＩＥＬＴＳ　⑦ＴＯＥＦＬ ｉＢＴ®

②実用英語技能検定　⑤ＴＥＡＰ　⑧ＴＯＥＩＣ®Ｌ＆Ｒ及びＴＯＥＩＣ®Ｓ＆Ｗ

③ＧＴＥＣ　⑥ＴＥＡＰ ＣＢＴ

＊対象とする外部試験は、令和6年４月以降に受験したもの、かつ、出願期間にスコア提出が間に合うもので、４技能を測る試験のオフィシャルスコア（原本）に限る

出　願　期　間	令和７年９月２２日（月）～９月３０日（火）※出願書類の郵送は締切日消印有効		
入 学 検 定 料	３２，０００円		
試　　験　　日	令和７年１０月１９日（日）	**試 験 会 場**	本　学
試 験 時 間 割	経営学部 経営学科・経済学部・国際関係学部 集　合 ９：１５ → 小論文 ９：３０～１０：３０ → 面　接 １０：４５～ 法学部 集　合 ９：１５ → 専門基礎 ９：３０～１０：３０ → 面　接 １０：４５～		
合　格　発　表	令和７年１０月２７日（月）		
入 学 手 続 期 間	●第１次手続　令和７年１０月２７日（月）～１１月１０日（月） 入学金の納入・入学手続書類の本学への送付と＜あじばこ＞上での入学手続入力 ●第２次手続　令和８年１月１９日（月）～１月２６日（月） 入学金を除く納入金（春学期分もしくは年額分のいずれか）の納入		

■出　願　書　類

【出願者全員が提出する書類について】

ネット出願確認票	６ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。
編入学試験身上調書 （巻末 本学所定用紙 全２枚）	本人自筆で作成し、提出してください。
英語外部試験オフィシャルスコア (原本)	令和６年４月以降に受験したもの、かつ、出願期間内にオフィシャルスコアの提出が間に合うもの。なお、４技能を測る試験に限る。

【出願資格を証明する書類について】

		卒業(修了)証明書	卒業(修了)見込証明書	在学証明書等	編入学出願資格証明書 ※1	成績証明書	履修証明書または単位修得見込証明書等 ※2
大学	卒業(修了)した者	●				●	
	令和８年３月卒業(修了)見込みの者		●			●	
	卒業年次以外に在学中の者 退学した者			● 在籍学年が分かるもの		● 1年次在学者は不要	● 在学中の者のみ
高等専門学校 短期大学	卒業(修了)した者	●				●	
	令和８年３月卒業(修了)見込みの者		●			●	●
高等学校等専攻科 専修学校	卒業(修了)した者	●			●	●	
	令和８年３月卒業(修了)見込みの者		●		●	●	●

◆証明書記載の氏名が婚姻などの理由により、現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的な書類(戸籍抄本等)を添付してください。

※１それぞれ巻末の本学所定用紙を利用してください。

※２現在履修中の科目や単位数が確認できるものを提出してください。なお該当する証明書などが発行されない場合は、巻末の「単位修得見込み科目記入票」（本学所定用紙）を利用してください。

【以下は外国人留学生のみ対象】

外国人留学生は、本学に入学するために下記の書類等が必要となりますので、次の書類も必ず提出してください。

１．在留カードの両面コピー

両面を A4 サイズの用紙にそれぞれ１４０%拡大コピーしたものを提出してください。ただし、出願時に日本国外に居住していて在留カードを所持していない場合は、提出する必要はありません。

２．パスポートのコピー

出願時に有効なパスポートを所持していない場合、受験できないことがあります。
氏名、顔写真、生年月日、性別、署名（Signature)、パスポート番号、パスポート発行日、パスポート発行地のあるページを A4 サイズ用紙にすべてコピーしてください。

出願・受験について

本学はネット出願を導入しています。詳しい出願方法については次ページの「ネット出願申し込み手順」でご確認ください。

■注意事項

（1） 認定単位数によって２年次編入生は３か年、３年次編入生は２か年で卒業できないことがあります。

（2） 出願はインターネットでの出願登録、入学検定料の納入および出願書類の郵送をもって完了となります。

（3） 出願期間を過ぎた書類は受付できません。また、入学検定料を納入しなかったり、出願手続に不備がある場合には受験できなくなることがありますので、注意してください。

（4） 出願が完了した後の学部学科の変更は認めません。

（5） 一旦受理した出願書類及び入学検定料は、原則として返還いたしません。
ただし、次の①～③に該当する場合は入学検定料を返還します。
①入学検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合
②出願資格を満たさず、出願が受理されなかった場合
③納入するべき入学検定料より過剰に納入した場合
該当する方は入試部アドミッションセンターへお問い合わせください。

（6） 受験の際、特別な配慮を必要とする場合は、８ページを参照してください。

（7） 受験票は、オンラインで発行します。９ページを参照してください。

（8） インターネット環境がない志願者の方は、入試部アドミッションセンターへお問い合わせください。
（入試部アドミッションセンター　TEL 0422-36-3273）

■出願書類

（1） 各種証明書については、出願時から３か月以内に発行されたものを提出してください。
また、証明書は厳封されたものを提出してください。

（2） 自筆する出願書類については、黒色インクのペン、ボールペンを使用してください。
（消えないもの）

（3） 出願登録後「ネット出願確認票」「ネット出願確認票（控）」「宛名ラベル」をダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷してください。

（4） 印刷した「ネット出願確認票」はその他の出願書類とともに市販の角 2 封筒に入れ、「宛名ラベル」を封筒の表面に貼り付けて「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。窓口受付は行いません。

ネット出願申し込み手順

出願をするためには〈あじばこ〉への登録が必要となります。下記手順に従って手続きを進めてください。

はじめに

随時登録可能

STEP① 本学入試情報サイト https://www.asia-u.ac.jp/admissions/ へアクセス

STEP② 画面内の〈あじばこ ネット出願〉バナーをクリック 〈あじばこ〉登録手順へアクセス
※未登録の方は1.〈あじばこ〉への登録へ、既に〈あじばこ〉へ登録済みの方は2.ネット出願へ進んでください。

1.〈あじばこ〉への登録

STEP① ガイダンスページ内の「利用案内・手続きを始める」「〈あじばこ〉登録利用案内」および「〈あじばこ〉登録手順」を熟読のうえ、ページ上部の 初めてあじばこを登録する方 の赤色のボタンより利用者登録
※「個人情報の取り扱いに同意する」にチェックを入れる必要がありますのでよく読んだうえでチェックしてください。利用者登録にはメールアドレスが必要です。利用者確認メールが返信されますので、その内容に従いパスワードを設定してください。

STEP② 〈あじばこ〉TOP画面の上部ボタンより 個人情報の登録 および 証明写真の登録 を行ってください。
※〈あじばこ〉登録後に続けて出願する場合は、各種ガイダンス（別ウィンドウで開きます）を熟読のうえ STEP③ から出願登録を行ってください。

2. ネット出願

出願期間に登録可能

STEP① 「ネット出願登録手順」を熟読後、ページ上部の 既にあじばこを登録している方 の青色のボタンをクリック

STEP② ログイン画面の表示 登録したメールアドレスとパスワードを入力し、ログイン ボタンをクリック。

STEP③ 〈あじばこ〉TOP画面の表示 出願登録 ボタンをクリック。
※出願登録には 個人情報の登録 および 証明写真の登録 が必要です。

STEP④ 入試形態の選択［パスワード **au2ms4tk** を入力］・出願情報の入力画面の表示
画面の表示に従って必要な情報を入力してください。

出願期間に入学検定料の支払い・出願書類の郵送 ※締切日消印有効

STEP⑤ 出願書類の印刷・入学検定料の支払い
登録完了画面、または出願内容の確認画面より「宛名ラベル」、「ネット出願確認票」、「ネット出願確認票（控）」をA4サイズの用紙に印刷してください。
その上で入学検定料支払い専用サイトへ移動し支払い方法を下記より選び、支払いを済ませてください。

◆クレジットカード ◆コンビニエンスストア ◆ATM（ペイジー） ◆ネットバンキング

入学検定料の支払いについては次ページを参照してください。
※出願登録完了後に通知される支払期限内に支払いがなかった場合は、登録した出願情報が無効となります。再度出願登録からやり直してください。

STEP⑥ 出願書類を簡易書留速達郵便で郵送 出願書類の送付に関しては前ページを参照してください。

出 願 完 了

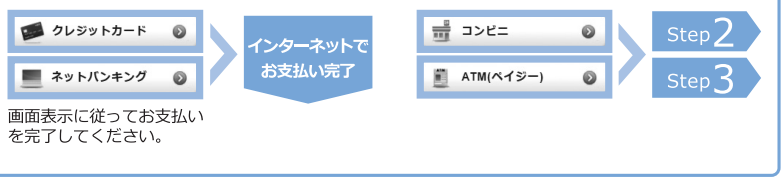
STEP⑦ 受験票の印刷 受験票はオンラインで発行します。各自印刷をし、試験当日に持参してください。詳しくは9ページを参照してください。

入学検定料の支払い方法

詳しい支払い方法の確認は、ネット出願登録後の登録完了画面や〈あじばこ〉TOP画面の 出願内容の確認、受験票の印刷 から行えます。

Step 1　入学検定料の支払い方法を選択します。

登録完了画面、または申込確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。



- **クレジットカード**
  VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
- **ネットバンキング**
  主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
  ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step 2　[お支払い情報]を確認します。

コンビニ・ATMでのお支払いに必要な[お支払い情報]を取得します。[お支払い情報]は、必ずメモを取るか印刷してください。

● コンビニ：コンビニ名を選択した後、[お支払い情報]取得ボタンを押してください。

● ATM（ペイジー）：画面表示に従い、[お支払い情報]取得ボタンを押してください。

Step 3　選択した支払い方法で入学検定料を支払います。

Step2で取得した[お支払い情報]を持参し、コンビニ（レジ、設置端末）・ATMにて入学検定料を支払います。コンビニ・ATMでのお支払いの流れは以下のURLから参照してください。領収書は必ず受け取ってください。

コンビニでのお支払いの流れ
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/cvs/

銀行ATM（ペイジー）でのお支払いの流れ
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/atm_pay-easy/

サービス利用料について
入学検定料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時にご確認ください。

支払期限について
出願登録完了後に通知される支払期限内に支払いがなかった場合は、登録した出願情報が無効となります。
再度出願登録からやり直してください。

受験の際特別な配慮を必要とする場合

病気や障がい等のために、入学試験の受験時に配慮を希望する場合は、必ず受験を予定している入学試験の出願期間開始日の1ヶ月前までに本学アドミッションセンターへ申請を行ってください。
申請内容に基づいて状況に応じた配慮を行いますが、ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。
なお、申請が入学試験の合否に影響することはありません。

受験上の配慮申請から配慮内容決定までの流れ

⑴受験を予定している入学試験の出願期間開始日の1ヶ月前までに申請書類を揃え、本学アドミッションセンターまでご提出ください。
⑵本学にて申請書類を受理後、申請内容・書類を基に審査を行い、配慮内容を決定いたします。
⑶配慮内容が決定次第、「受験相談申請書」に記載いただいた連絡先へご連絡をいたします。

申請方法

・申請書類の郵送
本学公式サイト（下記URL）の「3.申請書類」に明記されている書類を準備し、受験を予定している入学試験の出願期間開始日の1ヶ月前までに本学アドミッションセンターへ郵送（簡易書留またはレターパック）してください。

申請に係る留意事項

⑴申請期限（出願期間開始日の1ヶ月前）までに申請がなかった場合、 受験上の配慮ができない場合があります。
ただし、不慮の事故や急な発病等のために、やむを得ず上記の期限までに申請ができなかった場合については、可能な限り速やかにアドミッションセンターへ問い合わせください。
⑵申請書類は、希望する配慮について確認するためのものであり、合否判定とは一切関係ありません。
⑶申請内容に基づいて、障がい等の種類・程度に応じた配慮事項を決定します。
ただし、希望される配慮すべてに対応できるとは限りませんので、予めご了承ください。
⑷申請書類に記載された受験上の配慮希望について、内容確認のため、本学アドミッションセンターから連絡する場合があります。
⑸提出していただいた申請書類の情報につきまして、重要な個人情報として充分留意し取扱い、受験上の配慮事項の調整、入学後の修学支援の目的で、入学試験関係部署、学生支援関係部署と共有しますが、それ以外の目的で使用することはありません。
また、申請書類に記載していただいた連絡先や、証明書等の発行先に、内容確認等のため連絡する場合がありますので、予めご了承ください。

詳細はhttps://www.asia-u.ac.jp/admissions/exam/related/ds_support.htmlをご確認ください。
「亜細亜大学　入学試験　配慮」と検索することでも確認できます。

公式サイトはこちら

受験票について

受験票はオンラインで発行します。下記を確認のうえ、取得してください。
受験票は大学で出願書類の確認後、発行します。
〈あじばこ〉(https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/) にログイン後、
出願内容の確認、受験票の印刷 を選択し、A4サイズの用紙に印刷のうえ、試験当日に必ず持参してください。
(カラー・白黒は問いません)
※試験当日の3日前までに確認できない場合は、入試部アドミッションセンター (TEL0422−36−3273) まで問い合わせてください。
※受験票を大学から郵送することはいたしません。

〈あじばこ〉はこちら

受験上の注意

(1)試験当日の試験場の開門時刻は午前8時30分です。
(2)試験開始の前に出欠確認を行いますので、集合時刻までに所定の席に着席してください。
(3)試験当日は、出願時のネット出願確認票の写真と同様の容姿 (髪型・眼鏡等) で受験してください。
(4)上履きは必要ありません。
(5)黒鉛筆 (削ったもの数本) とプラスチック製の消しゴムを必ず持参してください。
(6)辞書付時計、英文の印刷されている衣服や文房具類等は使用できません。
(7)受験時の試験室は、試験当日に試験場で確認してください。
(8)駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。
(9)大学・駅周辺において、チラシ配布などの勧誘業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係ありません。

試験時間中の注意事項

(1)試験時間中は監督者の指示に従ってください。
(2)試験時間中の途中退室は認めません。試験時間中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には挙手をして監督者の指示に従ってください。なお、一時退室した場合でも試験時間の延長は認めません。
(3)監督者の指示が聞き取れないことがありますので、「耳せん」は使用できません。
(4)携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラーム設定を解除して電源を切って、かばん等に入れてください。携帯電話、時計等の機器が音 (着信・アラーム・振動音など) を発した場合、持ち主の同意なく監督者が該当機器やそれが入っているかばん等を試験室の外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。また、これらの音は不正行為とみなされることがあります。
(5)文字や地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
(6)試験時間中に日常的な生活騒音等 (監督者の巡視による足音、監督業務に必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など) が発生した場合でも救済措置は講じません。
(7)試験時間中に机の上に置けるものは以下の通りです。これ以外のものは置くことができません。

受験票	黒鉛筆(HB)	シャープペンシル(芯ケース除く)	プラスチック消しゴム
鉛筆削り(電動・大型・ナイフ類除く)	時計※	眼鏡	目薬
ハンカチ(無地)	ハンドタオル(無地)	ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)	

※時計は腕時計型端末等の通信機能があるもの、辞書や電卓等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは使用できません。
●座布団、ひざ掛けについては、監督者に申し出のうえ、許可を受けて使用することができます (監督者が確認の結果、使用できない場合があります)。なお、座布団、ひざ掛けは無地のものに限ります。

不正行為について

受験に際して、以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為となった場合には、当日の入学試験すべての教科の得点を無効とし、それ以後の受験もできません。この場合も入学検定料の返還は行いません。

⑴カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
⑵使用を認められていない用具を使用すること。
⑶解答開始の指示の前に、問題を見たり、解答を始めること。
⑷解答終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
⑸試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
⑹試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー、イヤホン等を身に付けていたり、かばん等にしまわないこと。
⑺試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴動させるなど、試験の進行に影響を与えること。
⑻試験時間中に、問題・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑼試験室において、監督者、係員等の指示に従わないこと。
⑽試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑾志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
⑿試験終了後、解答用紙を提出しないこと。
⒀その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合について

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。
試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合には、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
詳細については、対応が決定次第、〈あじばこ〉に随時掲載しますので、各自で確認してください。
〈あじばこ〉https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/

▲〈あじばこ〉はこちら

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症への対応について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染する恐れがあるため、受験をご遠慮願います。当該理由により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置や入学検定料の返還は行いません。ご質問などありましたら、入試部アドミッションセンター（TEL 0422-36-3273）までご連絡ください。

合否結果の確認

合否結果は、〈あじばこ〉での確認となります。インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等で確認できます。

〈あじばこ〉（https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/）にログイン後、**合格発表** を選択し、画面の指示に従い、必ず確認してください。

合格者には合格通知書を発表日に速達で発送しますが、合格発表日は必ずしも手元に合格通知書が到着する日ではありません。なお、不合格通知は送付しません。

▲〈あじばこ〉はこちら

利用上の注意

●本システムの「誤操作」「見間違い」などを理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
●合格発表直後はアクセスが集中することが予想され、一時的に本システムにつながりにくくなる場合があります。
●本学への合否結果等に関する問い合わせには応じられません。受験生以外の方が本システムを利用する場合は、必要事項をあらかじめ本人に確認のうえ利用してください。

合 格 発 表　：　令和7年10月27日（月）9：00 ～

入学手続について

■入学手続

合格者は入学手続期間内に〈あじばこ〉内の「入学の手引き」手続方法を確認のうえ、手続を行ってください。

また、入学手続の際に使用する、学校納入金の振込用紙は送付いたしません。

決められた期間内に〈あじばこ〉からダウンロード・印刷をし、銀行窓口等で入金を行ってください。

入学手続期間は３ページを確認してください。

●単位修得見込み（もしくは卒業／修了見込み）で受験した方で、最終成績の取得単位が出願資格に定めた単位数に満たない（卒業／修了できない）場合、入学を取り消します。

＜入学辞退＞

入学手続後に入学を辞退する場合、入学辞退期間に辞退手続をした方に対し、入学金を除いた学校納入金を返還します。

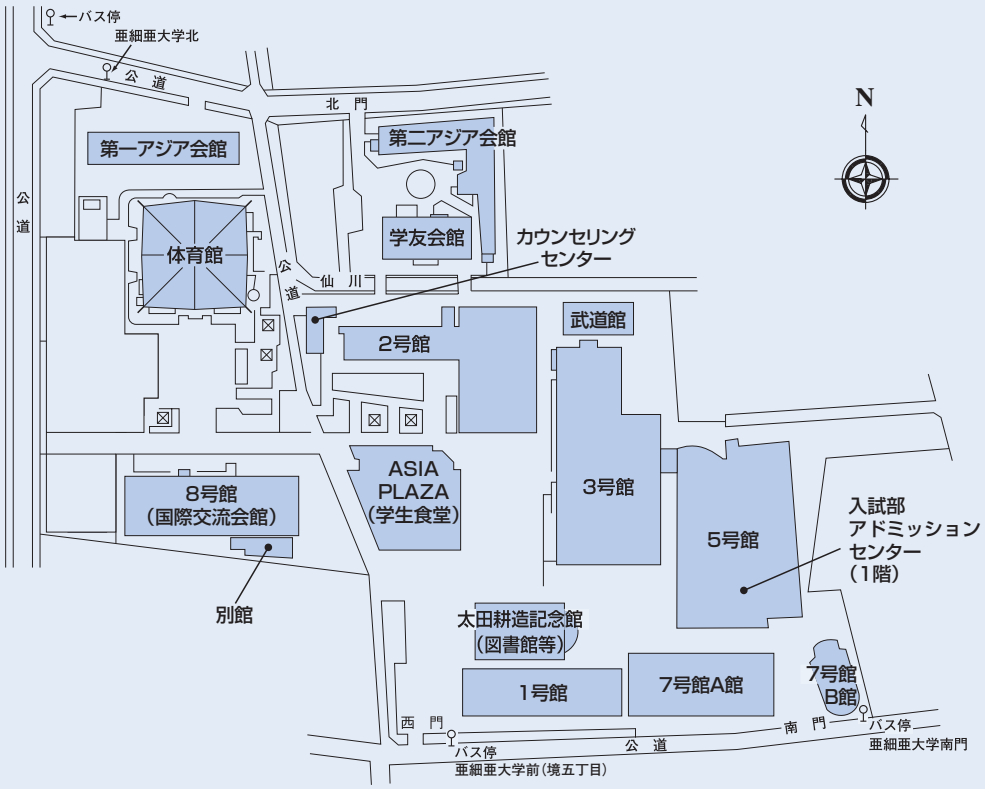
●入学辞退期間　令和８年３月１５日（日）～３月３１日（火）

■学校納入金[令和８年度入学生]

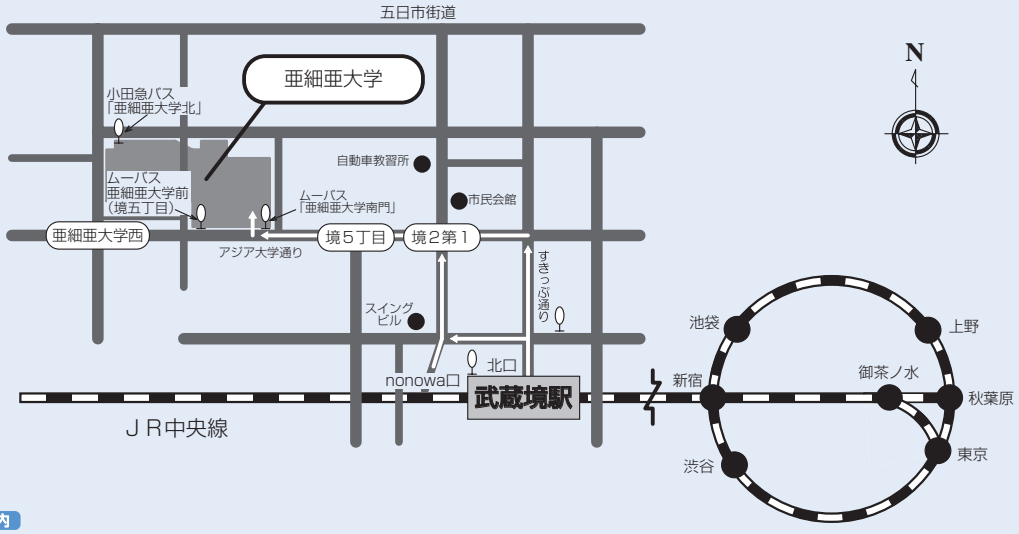
（単位：円）

種別＼年次・学部		２年次編入生	３年次編入生			
			本学以外の大学および短期大学等を卒業(見込)の場合		亜細亜大学短期大学部を卒業の場合	
		経営学部 法学部	経営学部 経済学部 法学部	国際関係学部	経営学部 経済学部 法学部	国際関係学部
入学金		150,000	150,000	150,000	75,000	75,000
授業料	春学期	430,000	430,000	450,000	430,000	450,000
	秋学期	430,000	430,000	450,000	430,000	450,000
施設設備料	春学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
	秋学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
学友会	入会金	2,000	2,000	2,000		
	会費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
学生健康保険	入会金	500	500	500		
	組合費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
後援会費		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
合計	春学期	736,000	736,000	756,000	658,500	678,500
	秋学期	560,000	560,000	580,000	560,000	580,000
	年額	1,296,000	1,296,000	1,336,000	1,218,500	1,258,500

学校案内図
［武蔵野キャンパス］



所在地案内図



交通案内

武蔵境駅まで

- ●東京駅から約32分（JR中央線利用）
- ●新宿駅から約19分（JR中央線利用）
- ●大宮駅から約45分（JR埼京線・JR中央線利用）
- ●千葉駅から約67分（JR総武線・JR中央線利用）
- ●羽田空港から約64分（東京モノレール・JR山手線・JR中央線利用）
- ●西武新宿線「田無駅」から約15分
  （西武バス「武蔵境駅」行利用「武蔵境駅」（終点）下車）

※乗り換え時間は含まれていません。

武蔵境駅からキャンパスまで

- ●北口またはnonowa口から徒歩12分

※駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。

亜細亜大学
入試部
アドミッションセンター
〒180-8629　東京都武蔵野市境5-8
TEL 0422-36-3273　FAX 0422-36-1890

編入学試験　身上調書

亜細亜大学　　記入日　　年　　月　　日

志願年次	2年次　　3年次 ※該当年次に○をする	出願する 学部・学科	学部　　学科
フリガナ		生年月日・年齢	
氏名	男 女	西暦　　年　　月　　日 （満　　歳）	
現住所	〒		
	TEL　　（自宅・携帯）		
	E-mail		
緊　急 連絡先	〒		
	TEL　　（自宅・携帯）		
	E-mail		

本人履歴（小学校入学から現在までのすべての経歴を書いてください）

〈学歴〉学 校 名	所 在 地	在　学　期　間	年数
小学校		年　　月～　　年　　月	
学校		年　　月～　　年　　月	
学校		年　　月～　　年　　月	
学校		年　　月～　　年　　月	
学校		年　　月～　　年　　月	
学校		年　　月～　　年　　月	
学校		年　　月～　　年　　月	
〈職歴〉会 社 名		勤　続　期　間	
		年　　月～　　年　　月	
		年　　月～　　年　　月	
		年　　月～　　年　　月	

※所在地が国内の場合は都道府県名を記入し、国外の場合は国名及び州名を記入してください。

編入学試験　身上調書

氏　名

本学志望理由			
最近とくに興味をもったこと			
資　格		将来の希望	
長　所		得意科目	
短　所		不得意科目	

編入学試験　単位修得見込み科目記入票

氏　名

志願年次　　年　　志願学部・学科

令和７年度履修中の科目名と単位数を記入すること（令和７年度履修中の科目のない場合は提出不要）

	科　目　名	単位数	科　目　名	単位数
専門科目				
小　計	科目　　単位			
外国語科目				
小　計	科目　　単位			
その他の科目（教養関係科目等）				
小　計	科目　　単位			

編入学用出願資格証明書

〔専修学校専門課程修了（見込）者用〕

亜細亜大学 学長殿

下記の者は、本学において修業年限が 2 年以上あり、かつ、修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上である専門課程の修了（見込）者である。

フリガナ		性　別	生　年　月　日
氏　名		男・女	西暦　　年　　月　　日生
在学期間	西暦　　年　　月　　日入学／西暦　　年　　月　　日		修 了 修了見込
専修学校名	学校		科 課程
専修学校設置認可年月日	西暦　　年　　月　　日		
上記学科の専門課程認可年月日	西暦　　年　　月　　日		

上記の記載事項に誤りのないことを証明する。

西暦　　年　　月　　日

学校所在地

学　校　名

学校長名　　㊞

編入学用出願資格証明書

〔高等学校等専攻科修了（見込）者用〕

亜細亜大学 学長殿

下記の者は、本学において修業年限が２年以上あり、かつ、文部科学大臣が定める基準を満たす課程の修了（見込）者である。

フリガナ		性　別	生　年　月　日
氏　名		男・女	西暦　　年　　月　　日生
在学期間	西暦　　年　　月　　日入学／西暦　　年　　月　　日　修了 修了見込		
学校名	学校	専攻科	

上記の記載事項に誤りのないことを証明する。

西暦　　年　　月　　日

学校所在地

学　校　名

学 校 長 名　　㊞